



令和4年度「ちっちゃい探検隊②」 実施報告書



I 事業の概要

1. 期 日 令和4年11月5日(土) ※日帰り
2. ねらい
 - ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
 - ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
 - ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。
3. 参加者数 小学校1～3年生 30名 (募集人数36人 応募数44名)
大学生ボランティア10名、集いに参加された保護者の方 31名
4. 参加費用 1000円
5. 日程

9:30	受付開始
10:00	オープニング(出会いの集い) ～おばけかぼちゃがまだいたぞ!～
10:20	グループを組もう!(アイスブレイク・レクリエーション)
10:50	アイテムを作ろう(クラフト)
12:00	昼食
13:00	おばけカボチャと対決しよう! (レクリエーション・オリエンテーリング) ※雨天時は館内オリエンテーリング
	感想記入
15:15	エンディング(別れの集い)
15:30	解散



II 実施状況

今年度実施のちっちゃい探検隊シリーズは、今回で3度目の開催となった。日帰りでの実施となったが、30名の子どもたちが船上山少年自然の家が集まった。初めての参加に緊張した様子の児童もいたが、学生ボランティアに玄関で優しく迎えられ、安心した表情で会場の体育館まで移動していた。

受付時に名札を手渡され、裏に書かれているチームカラーをボランティアと一緒に確認してもらった後、班ごとに集合して出会いの集いを行った。今回のちっちゃい探検隊2では、ハロウィンが終わってもいたずら続ける

かつどうのきろく

☆ほしがたしールをたつめよう!☆

じこしょうかいが できました!	まほうのけんを つくった!	ともだちと ともかくして クイズをいた!	やわらをおわけて おたけがたすきを たいたました!
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年11月5日 ちっちゃい探検隊2



おばけカボチャを、みんなの力を合わせて退治するストーリーである。そのことを子どもたちに伝え、アイテムを作ったり、なぞなぞを解いたりして退治をしていくことを説明した。

出会いの集い終了直後、おばけカボチャが登場して会場を盛り上げたり、学生ボランティアに声をかけてもらったりするうちに、子どもたちの緊張が解けていく様子を感じられた。

参加した子どもたちは色ごとに6つの班に分かれ、自己紹介カプラを行った。その後のクラフト活動では、おばけカボチャを退治するための魔法の剣を作成した。柄の部分ペンライトになっており、ライトを点灯したときに、セロハンで光と筒の部分に色が投影される仕組みになっている。ビニールシートを筒状に巻き付ける作業が低学年にとっては難しく感じたようだが、指導員やボランティアの補助もあり全員が作品を完成させることができた。作った剣でさっそく遊ぶ子どもたちの姿が多く見られ、楽しんでいた様子だった。

昼食は、おばけカボチャのいたずらにより、かぼちゃ尽くしの献立になったという設定にした。かぼちゃを使った料理を給食会の協力のもと提供することができた。旬の食材を使用したメニューということもあり、子どもたちからは「おいしい!」という声がたくさん聞くことができ、とても好評だった。

午後からの活動では、おばけカボチャを倒すキーワードとなる言葉を班ごとに探し、協力して問題を解いていく館内オリエンテーリングを行った。最後のおばけカボチャとの直接対決では、ラインナップとパイプラインを行った。チームで取り組む協力型ゲームだったので、子どもたちはお互いに声を掛け合いながらゲームに挑んでいた。時には失敗しても、学生ボランティアが励ましたり、声をかけたりして、子どもたちの活動意欲をうまく引き出していた。徐々に子どもたち同士でも応援する姿や、あきらめずにチャレンジしようとする姿が見られ、盛り上がりを見せていた。全てのゲームが終わると、クラフトで作成した魔法の剣を使い、おばけカボチャを退治することができた。

今回は1つ活動が終わるごとに、名札の裏に活動目標が達成できたことが分かるようシールを貼った。少年自然の家でどんな活動にがんばっていたのかを、迎えに来てもらった保護者の方にも分かるように工夫した。全部のシールを貼り終わった子どもの喜ぶ姿を見ることができた。別れのつどいの後、記念写真撮影を行い、子どもたちはクラフトで作成した魔法の剣と名札をお土産に、迎えに来られた保護者の方と一緒に笑顔で帰っていった。



Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ じこしょうかいカプラをしてみんなのことがしれてなかよくなりました。

- ・ 新しい友だちができてうれしかったです。
- ・ クラフトやクイズが楽しかった。とくにクイズで、みんなといっしょにいろいろなところをさがしてこたえを見つけられたのが楽しかった。
- ・ かつどうのきろくシールがぜんぶたまってよかったです。
- ・ おばけカボチャをたおせれたのがうれしかったです。
- ・ みんなといっしょにきょう力しているんなことができたのが心にのこりました。
- ・ おひるごはんがおいしかったです。



2. 成果

- ・ 当日、学生ボランティアとの事前確認で、今回の主催の趣旨や協力してもらいたいことなど、細かいところまで打合せを行うことができた。また、事後の振り返りの時間もしっかり確保することができたので、学生にとってもより有意義な活動となった。
- ・ 館内活動でのオリエンテーリングでは、時間に余裕を持って行動することにより、安全にけがなく活動することができた。
- ・ 参加者の感想からは、おおむね満足した回答をいただくことができた。思い出だけではなく、形に残るものを織り交ぜながら喜んでもらえるような主催事業を提供していきたい。

2. 課題

- ・ 魔法の剣を作る際に、シートや、セロハンをペンライトに巻く作業が難しそうだった。低学年でも作成可能な工作の内容であるか、事前に作成し検証することの重要性を感じた。